

定例自然観察会実施報告書

2022年12月15日

六甲山自然案内人の会 5班 濱田 誠一

実施日 2022年12月10日(土)

テーマ 神戸の残された里山を楽しもう

コース 神鉄藍那駅～相談ヶ辻～神鉄藍那駅

集合 神戸藍那駅 10時 解散 同駅 14時20分

参加者 ビジター 34名 会員 32名(内5班 20名) (ビジターは5班体制で観察)

藍那の里は、源平の昔から歴史に出てくる古い歴史を持つ地域です。源義経が鶴越への進軍路に使った「藍那古道(義経道)」は有名ですし、本日は義経軍が進路を白川(一ノ谷)へ向かうか鶴越へ向かうかと相談したという伝承のある「相談ヶ辻(そうだがつじ)」を目指します。

また、この地域は里地里山の景観を保全再生している広大な「あいな里山公園」に隣接し、里山・里地を多く残す地域です。

今回は、そんな藍那の里の初冬の自然を楽しんでいただくという観察会でした。

当日の天気は快晴、風もなく暖かな小春日和に恵まれました。

わずか 3.5kmの短いコースでしたが、「残り紅葉」「果実や種子」「冬芽」などを通して感じていただいた藍那の里山はいかがだったでしょうか。



藍那駅の看板

午前中

本格的な観察は、集落を過ぎて山道にかかるところからスタートしました。

最初は常緑広葉樹やスギなどの高木に覆われた薄暗い林の道で、シラカシやアラカシ、アベマキなどのドングリを踏みながら、ウバユリの種子やテイカカズラの種子と虫こぶ(テイカカズラミサキフクレフシ)、ギンリョウソウモドキの蒴果が観察できました。

薄暗い森林帯を抜けると、明るく開けた里山風景です。

モチツツジやコバノガマズミ、モミジ、タカノツメなどの落葉樹の美しい紅葉はまだ残っています。

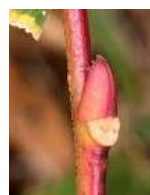
又、葉を落とした広葉樹では冬の植物観察の定番である冬芽が見られます。

マルバアオダモ、ネジキ、ヤブムラサキ、リョウブ、コバノガマズミ、ザイフリボク、スノキ、タカノツメ、コナラなど多くの冬芽を見ることができました。

ただ、ルーペ(虫メガネ)を持参されていないビジターさんもおられ、細部を見ていただけなかったのは少し残念でした。ルーペがあったら観察はもっと楽しくなりますので、次回からは是非ご持参されることをお勧めします。



ウバユリの蒴果



ネジキの冬芽



観察風景

昼食

昼食場所付近に耕作放棄地があり、ハンノキなどが群落を作っていました。

もともとは湿地だったところなので、そこを好む植物から野生化しつつあるのでしょう。(これも自然の姿です！)

奥の方に露出している地層は3500万年前の神戸層群で、白く見える部分は凝灰岩(火山灰層)です。

神戸層群の凝灰岩層には植物化石が多いと言われていますが、植物化石は見つかりましたか？

昼食場所のそばの池ではハシビロガモを見ることもできました。

鳥たちに会えるのも冬の観察会の楽しみの一つですね。



トキリマメ



ハシビロガモ

午後 相談ヶ辻から藍那方面へ

相談ヶ辻から藍那方面へ曲がるとすぐにチシャノキ(カキノキダマシ)がありました。

葉や幹がカキノキに似ていることから名前がついたこの地では珍しい樹木です。

「あいな里山公園」に沿う道の土手にはテイカカズラの群落の中に見えた赤いヤブコウジの実、濃青色のジャノヒゲの実が印象的でした。

途中、イヌザクラの赤い冬芽、大きなカキノキに這い登ったツルマサキ、珍しいケフシグロ、閉鎖花のセンボンヤリを見ながら藍那駅に到着しました。

14時20分には全班が無事藍那駅に帰着し、班ごとに解散しました。

ビジターさんの感想に、「良いところですね。」「また、来てみたい。」、という声が多くありました。

藍那にはこのコース以外にも楽しめるコースがたくさんあります。ぜひ、又歩いてみてください。

そして、私たちの観察会にも又ご参加ください。



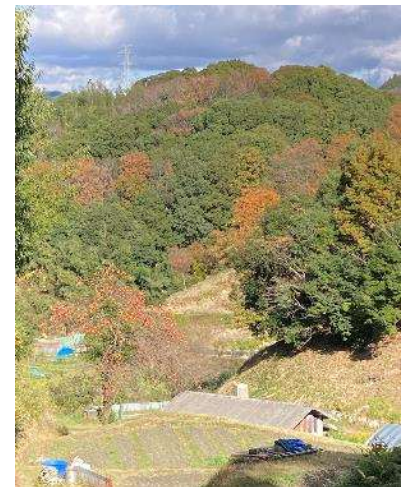
観察風景



ヤブコウジ



ケフシグロ



里山風景

観察したその他の主な植物 (繰り返し出てきた植物もありますので五十音順にしています)

アオキ、アカシデ、アカマツ、アカメガシワ、アキニレ、アセビ、イチヤクソウ、イタビカズラ、イヌエンジュ、イヌカタヒバ、イヌザクラ、イヌツゲ、イヌホオズキ、ウグイスカグラ、ウメモドキ、ウラジロガシ、ウラジロノキ、ウワミズザクラ、エゴノキ、エノキ、カゴノキ、カニクサ、カマツカ、カラスザンショウ、ガンピ、キッコウハグマ、クサギ、クズ、クヌギ、クマノミズキ、ケケンポナシ、ケヤキ、コウヤボウキ、コウヤマキ、コシアブラ、コマユミ、センニンソウ、ソヨゴ、ソクズ、タラノキ、ツリバナ、ツルアリドオシ、ツルグミ、トキリマメ、ナツハゼ、ナナミノキ、ナワシログミ、ヌルデ、ネズミモチ、ネムノキ、ノグルミ、ハゼノキ、ハナイカダ、ヒサカキ、ヒメコウゾ、フジ、ホオノキ、ミヤマガマズミ、ムクノキ、ムラサキシキブ、モミ、ヤブウツギ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、ヤマウルシ、ヤマコウバシ、ヤマモモなど

以上